

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 ~4日	2月 ~11日	2月 ~18日	2月 ~25日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	5	9	5	5
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	13	18	9 (10)	16
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	2	2	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	2	1	2	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	1	1	1	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	6	7	4	3

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報 令和6年第8週(2月19日~2月25日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9	2	1		1	3		2
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類	5	急性脳炎	1					1		
		水痘(入院例)	1	1						
		梅毒	3			1		2		

(注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

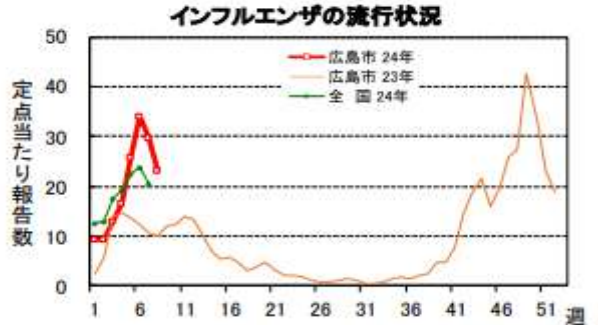
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり23.14人の報告がありました。減少傾向ですが、多い状況が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が49件報告されています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
 第8週 A型:13人、B型:155人



2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり4.61人の報告があり、減少傾向が続いています。引き続き、手洗い、換気、医療機関や混雑した電車・バスでのマスク着用など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

3 感染性胃腸炎

定点当たり8.22人の報告があり、多い状況が続いています。また、第5週から第8週の間には高齢者関係施設等で集団発生が5件報告されており、注意が必要です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

【参考】広島市における感染性胃腸炎の集団発生事例(今年度)(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease-joho/278.html>



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												急増	急減	
インフル	インフルエンザ	833	23.14	5.29	↗	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.06			前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	166	4.61		↘		流行性耳下腺炎	-	-	0.04				前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.30		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-			ほとんど増減なし	
	咽頭結膜熱	36	1.57	0.25	↗		流行性角結膜炎	7	0.88	0.28				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66	2.87	1.29	↗		細菌性髄膜炎	-	-	0.03				
	感染性胃腸炎	189	8.22	5.14	↗	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.03				
	水痘	2	0.09	0.19			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.14				
	手足口病	12	0.52	0.08			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	伝染性紅斑	-	-	0.10			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.06				
	突発性発しん	4	0.17	0.24										

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	10	30歳代・推定感染地域: 国外、70歳代、90歳代
5	急性脳炎	1	3	10歳代
5	梅毒	2	14	20歳代、40歳代